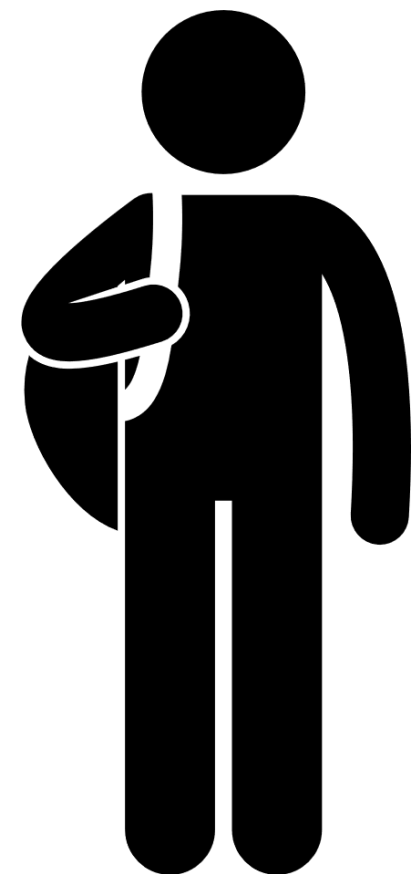




『海外DX人材へのアンケート調査（インド）』



2021年3月
日本貿易振興機構（ジェトロ）
ニューデリー事務所



【本レポートの利用についての注意・免責条項】

本レポートは、日本貿易振興機構（JETRO）がニューデリー事務所を通じて、現地の調査会社Pasona India Private Limitedに委託し作成したものです。2021年3月時点の情報であり、その後の国内情勢の変化などによって内容が変わっている場合があります。掲載した情報・コメントは作成委託先の判断によるものであり、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。また、本レポートは、日本に渡航前のインド人材を対象に実施したアンケート調査を基にまとめたものであり、あくまでも参考情報の提供を目的としています。本レポートにて提供する情報に基づいて行為をされる場合には、必ず個別の事案に沿った具体的な助言を別途お求めください。JETROおよびPasona India Private Limitedは本レポートの記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かに関わらず、一切責任を負いません。これは、たとえJETROおよびPasona India Private Limitedがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。

無断転載禁止



目次

• 回答者の属性	3-4
• 要旨	5-7
• 学生が仕事・キャリアに求めること	8-14
• 海外就労への関心	15-23
• 日本と日本企業の印象	24-27
• 付録：表	28-41

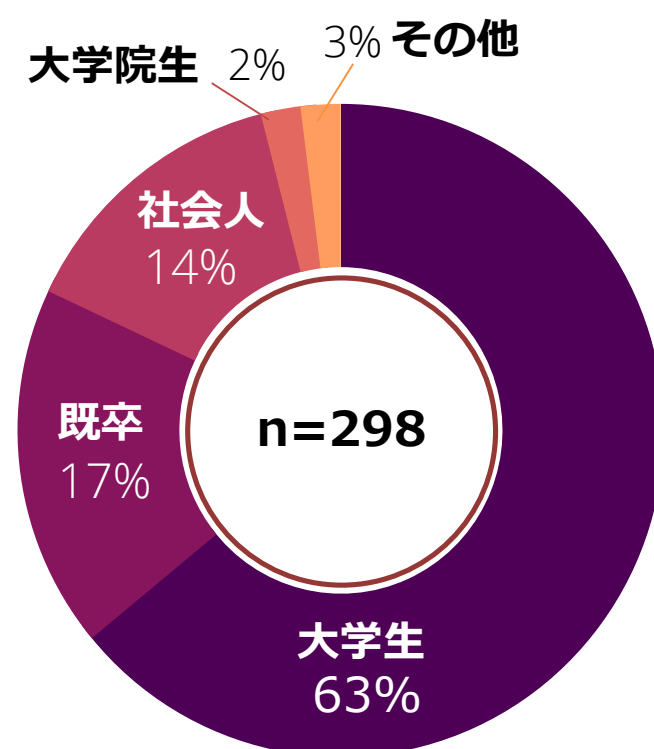
回答者の属性



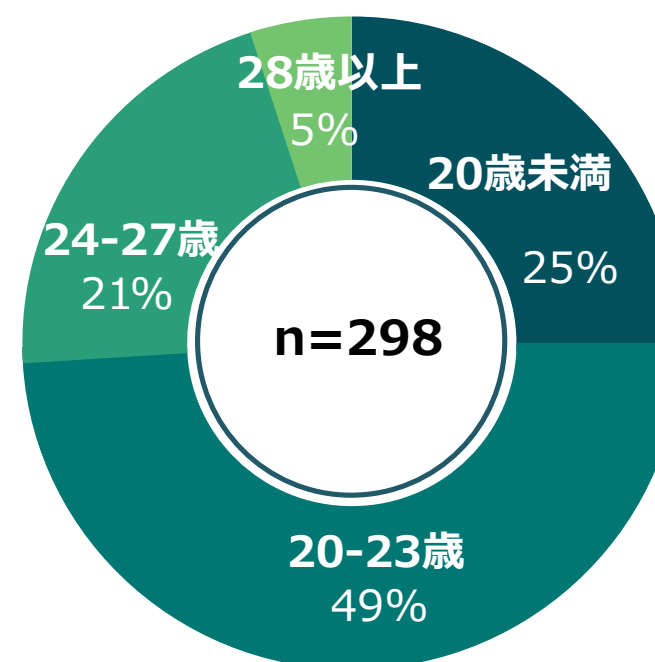
回答者の属性

- 298人の回答者がオンライン調査に参加、うち30人を抽出し電話にて詳細な聞き取りを行った。
- 49%が20-23歳の年齢グループである。
- 86%が男性、63%が大学生である。

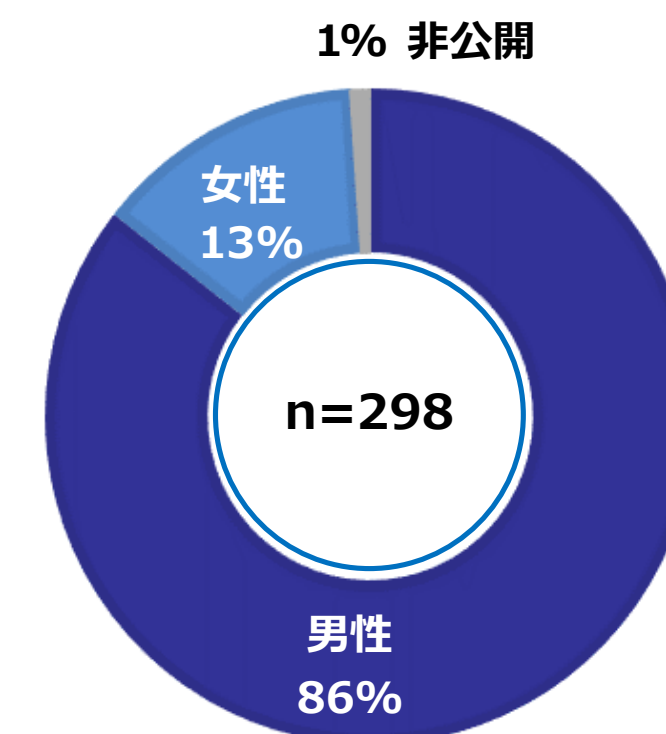
□ 現在の所属



□ 年齢



□ 性別





要旨

調査結果要旨

① インド人学生が仕事・キャリアに求めること

- 若くてエネルギッシュな学生たちは、自身の専門分野で経験を得、知識を高めるような仕事の機会を求めている。給与/報酬と成長の両方を望むという傾向がみられた。
- 42%は、企業の規模もタイプも重要でないと回答、インド系でも非インド系でも、あらゆるタイプの組織で機会を模索する準備ができていると回答。
- 仕事上の役割/仕事の内容が、自身のスキルセット/専門知識と一致するかどうか、そしてそれが将来的な自分の成長にどのように益となるのかを重要視している。
- キャンパスリクルート、インターンシップ、大学や友人や家族からの紹介、キャリアウェブサイトや企業ウェブサイトが、印度人の学生が仕事を探す上で非常に重要な役割を果たしている。

② 海外就労への関心

- 回答者の86%は、海外就労に関心がある。先進技術を学びキャリアの成長に役立てると同時に、新しい分野を探索し、多様な文化や価値観を体験できると考えられている。海外就労に関心がないと回答した14%は主に家族の理由を挙げている。
- 回答者は海外での就職方法、応募方法、会社はどのような支援をするのか、ビザの取得方法、滞在先などの情報収集に苦労している。
- インドとは異なる管理方法や働き方、仕事は自分の専門と合っているか、安全、永住権、勤務地などが、海外就労への不安・懸念として挙げられる。
- インド人学生は、大学の就職課や友人/親戚から得た情報や口コミに依存しています。
- アメリカと日本は海外就労先として人気の国である。アメリカは就労先としての第一選択国である。一方日本を海外就労先トップ3内に挙げた回答者は173人で、最多だった。
- 多くの回答者はアメリカに既に友人や親戚がいるため、生の声を聴いて直接様々な情報を収集できている。また実際に移住・就労した際にはサポートが得られることも、当人や送り出す家族に安心感を与えている。
- 一方日本は先進技術と文化が融合した魅力的な就労先であると考えられている。

③ 日本・日本企業へのイメージ

- 77%の回答者が日本や日本企業で働くメリットを感じている。
- 日本は非常に良いイメージを持たれている。日本は進んだ技術、勤勉な人々、外国人が働きやすく住みやすいと評価されている。
- 同時に、言語バリアや厳格すぎる規律というイメージのために、コミュニケーションの問題を心配する回答も見られた。
- 日本企業は技術、高品質の製品、世界的な日本企業の成功で高い評価を受けている。
- 一方で残業の多さやワークライフバランスの欠如、外国人が評価されない職場環境などの、ネガティブなイメージも少数ながら挙げられた。
- 専門的な技術や能力を持つ外国人材に対して、出入国管理上の優遇制度を日本が設けていることに関しては、74%が知らないと回答。学生が情報源として信頼を置く大学の就職課などを通じて、こうした制度・取り組みを宣伝していく必要がある。

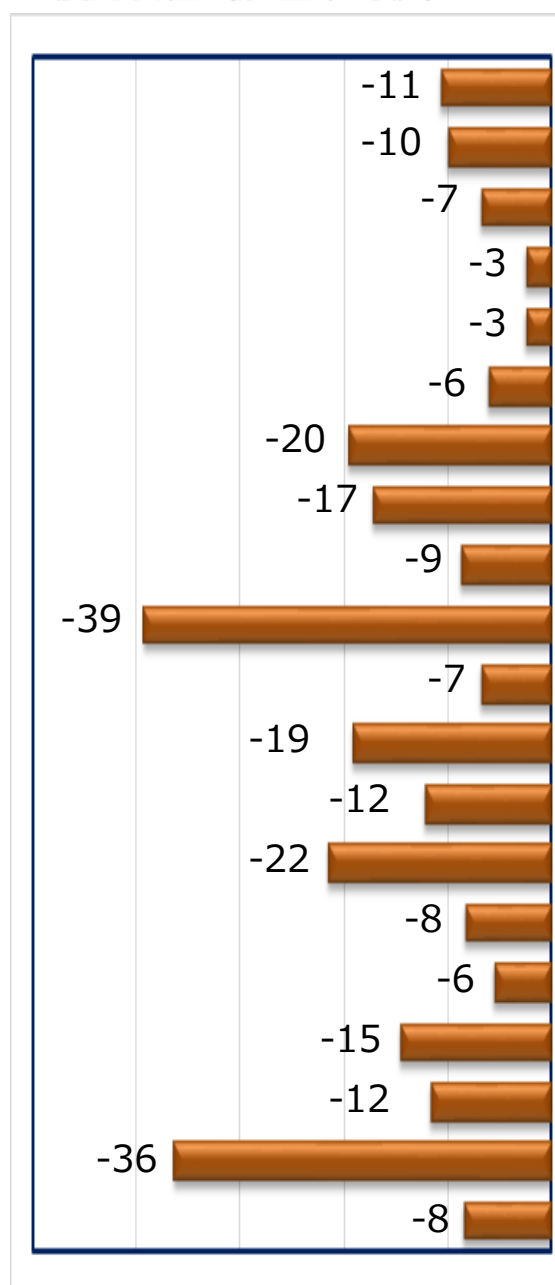
仕事を選ぶうえで重視すること ①

- 収入、雇用の安定、将来性、知識や経験が得られることが、仕事を選ぶうえで重要視することとして多くの回答者から挙げられた。
- 社会的地位が得られることや、転勤がないことは、最も重視されない要素である。

質問：あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。優先度の高いものから5つ、順番を付けて選んでください。

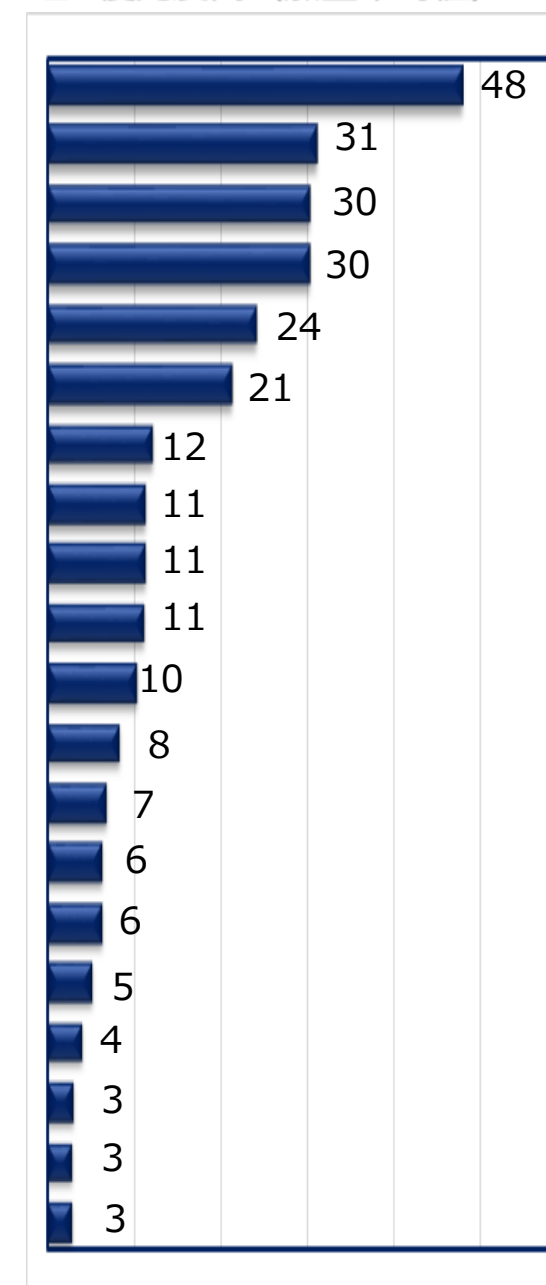
質問：あなたが仕事を選ぶ上で重視しないことは何ですか。優先度の低いものから5つ、順番を付けて選んでください。

□ 優先度低（加重平均値）



- 希望する収入が得られること
- 雇用が安定していること
- 会社や業種に将来性が感じられること
- 幅広い知識や経験を得られること
- 自分の成長が期待できる仕事であること
- プライベートを大事にできること
- 長く働けそうであること
- 給与以外の福利厚生が手厚いこと
- 自分の専門性や関心を生かせること
- 社会的地位が得られること
- 自分の裁量が多いこと・自分の意見が通りやすいこと
- 転職や起業に有利な会社であること
- フレックス勤務やテレワークなど、柔軟な勤務ができること
- 残業や休日出勤がないこと
- 規模の大きな仕事ができること
- 入社後のキャリアプランが描きやすいこと
- 研修が充実していること
- やりがいを感じられる仕事であること
- 転勤がないこと
- 会社内の人間関係が良いこと

□ 優先度高（加重平均値）



集計は、一人につき1位を5ポイント、2位を4ポイント、3位を3ポイント、4位を2ポイント、1位を1ポイントとして、加重平均値を算出。
加重平均値は四捨五入されている。

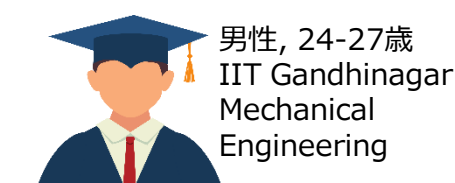
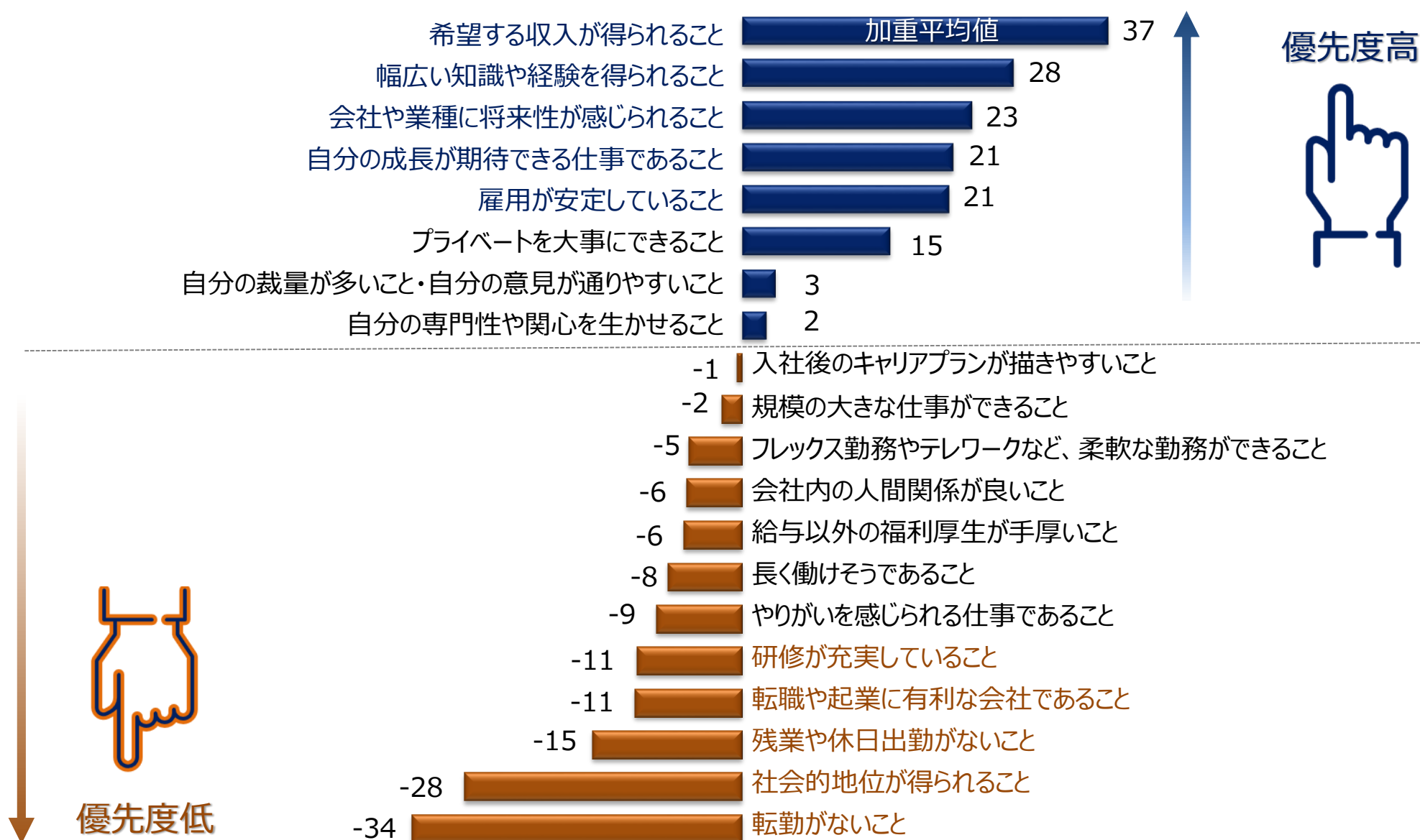
仕事を選ぶうえで重視すること ②

- 優先度が高い条件と低い条件の差を合わせて概観すると、収入、知識や経験、将来性、自分の成長、雇用の安定が上位に並んだ。
- 一方、転勤がないこと、社会的地位が得られること、残業や休日出勤がないことが、下位に並んだ。

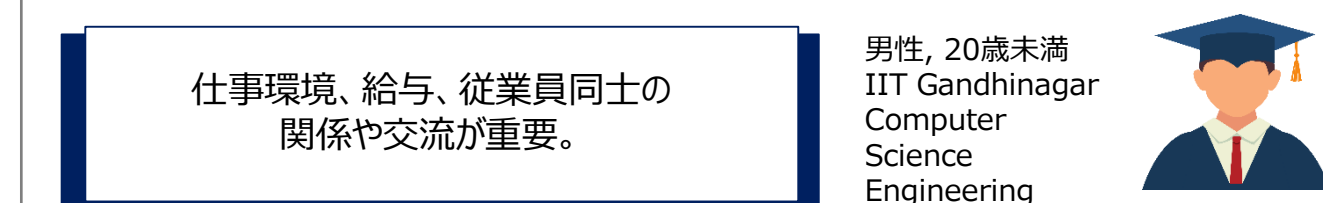
質問：あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。優先度の高いものから5つ、順番を付けて選んでください。

質問：あなたが仕事を選ぶ上で重視しないことは何ですか。優先度の低いものから5つ、順番を付けて選んでください。

仕事を選ぶうえで重視すること、優先度に応じた加重平均値をもとに、優先度が高いとした回答と優先度が低いとした回答の差を表示



給与、ライフスタイル、企業文化が重要な要素。



仕事環境、給与、従業員同士の
関係や交流が重要。



職場での成長、会社の環境。



場所、給与、労働条件。

男性, 20-23歳
IIT Indore
Electrical
Engineering

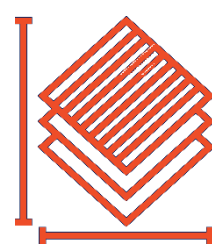


価値を与える仕事であること、業務内容、
給与と福利厚生が重要。

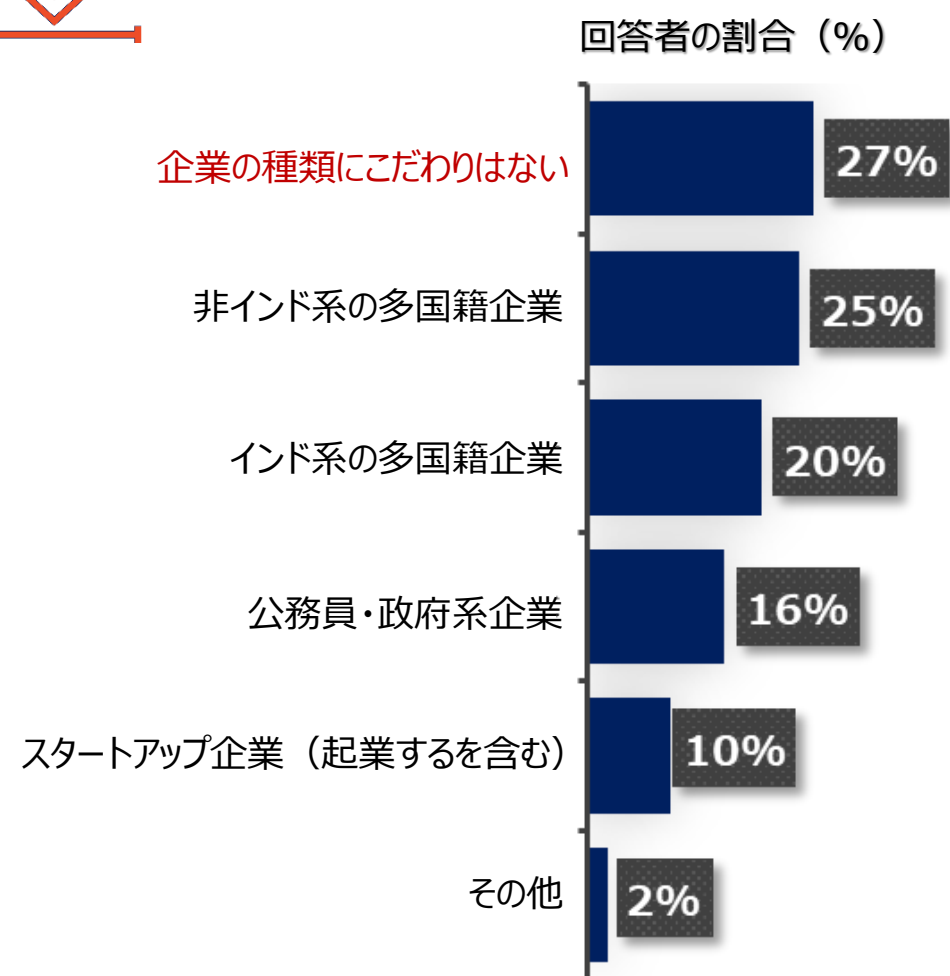
集計は、一人につき1位を5ポイント、2位を4ポイント、3位を3ポイント、4位を2ポイント、1位を1ポイントとして、加重平均値を算出。
加重平均値はは四捨五入されている。

希望する就職先のタイプ・規模

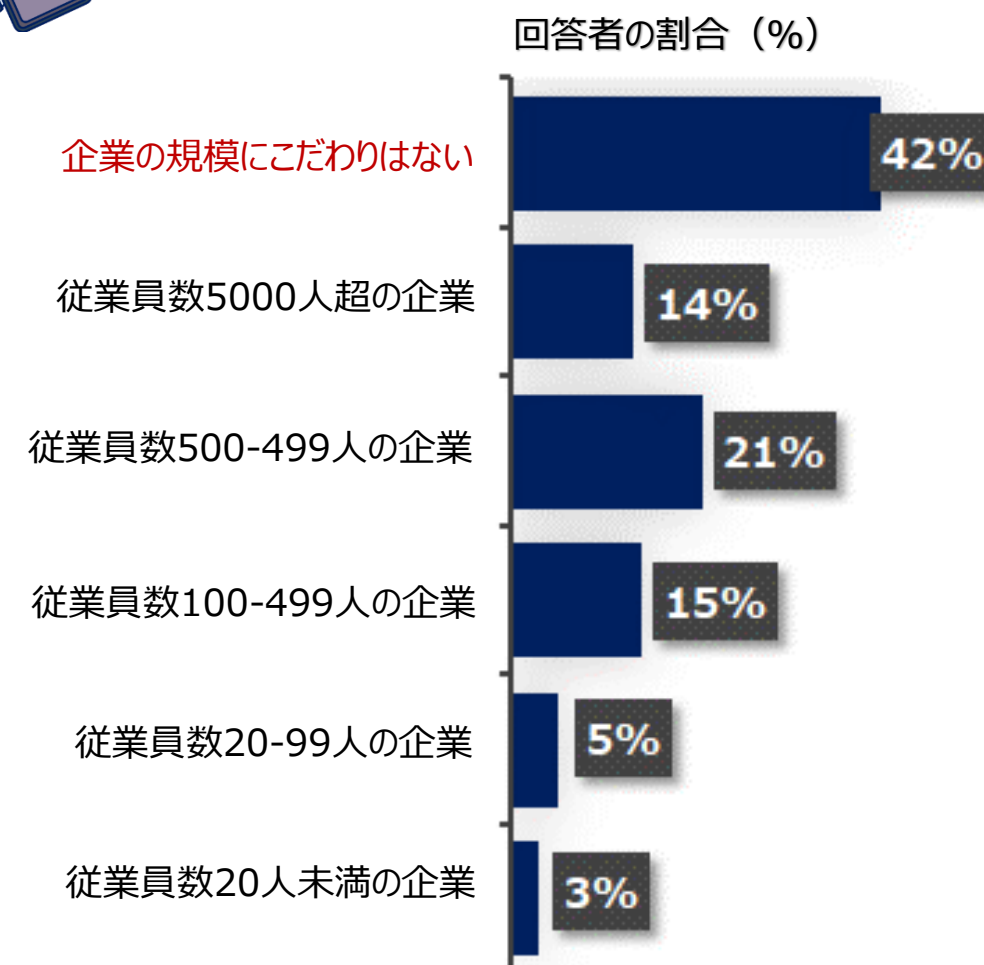
- 42%の回答者が、企業の規模にこだわりはないと回答。
- 回答者はどのような種類の企業でも働いて新しい経験を得たいと考えており、特に偏った傾向はみられない。



質問：
卒業後あるいは次のキャリアで希望する就職先は以下のどれに近いですか。いずれか一つ、選んでください。



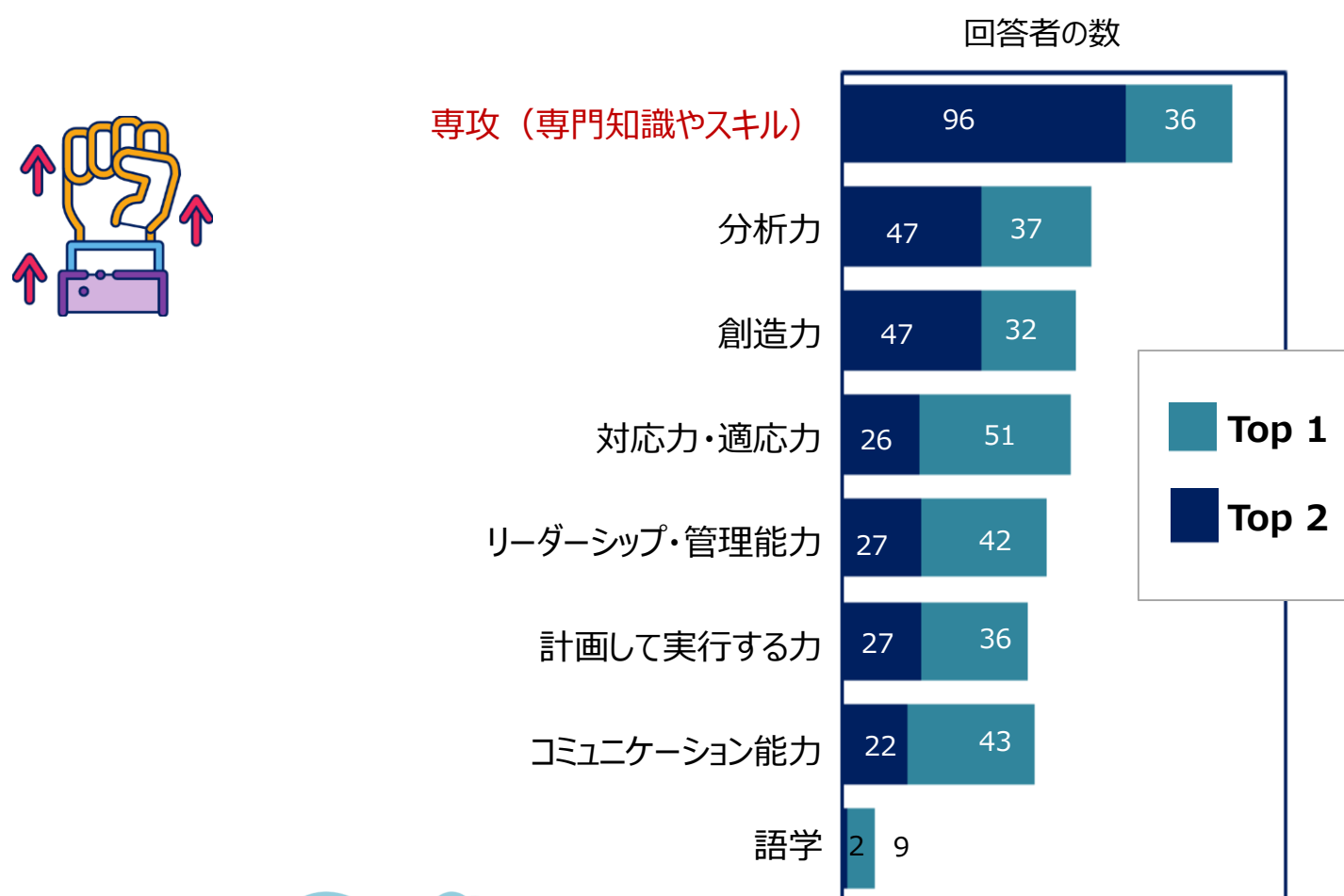
質問：
卒業後あるいは次のキャリアで希望する就職先の規模は以下のどれに近いですか。いずれか一つ、選んでください。



就職するにあたり生かしたい強み

- いまだ若くキャリアの始まりにいるため、知識と専門知識を高め、研究分野でのキャリアを追求したいと考えている。
- 分析力、創造力、対応力・適応力が、回答者が伸びた自身の強みである。

質問：就職するにあたりPRしたい／生かしたい自分の強みは何ですか。いずれか当てはまるものを2つ選択してください。



女性, 24-27歳
IIT Delhi
Optoelectronic and optical communication Engineering

仕事が自身のスキルセットと一致しているべき

自分の専門分野が仕事内容と一致しており、そこで多くの経験をし吸収したい。

男性, 20-23歳
IIT Indore
Electrical Engineering



男性, 20-23歳
Central University of Tamilnadu
Material Science and Technology

仕事のために必要なスキルセットが最も重要である

仕事内容が自分の専門と合ってること、また職の安定性が重要である

男性, 20-23歳
IIT Hyderabad
Mechanical Engineering



男性, 24-27歳
IIT Hyderabad
Electrical Engineering - Communication & Signal Processing

自分が勉強した専門分野の仕事がしたい。

自分の強みを生かしたうえで、仕事内容、給与、安定性が重要。

男性, 20-23歳
Delhi Technological University
Electrical and Electronics Engineering

就職先を見つける際に重視する情報源

- 回答者の63%近くが学部生であるため、就職先を見つけるために主に用いるのはキャンパスリクルートメントとインターンシップという結果となった。
- キャリアウェブサイトや企業のウェブサイトから情報を得ることも一般的である。
- 大学や家族・友人からの紹介は、信頼のできる情報源として重要である。

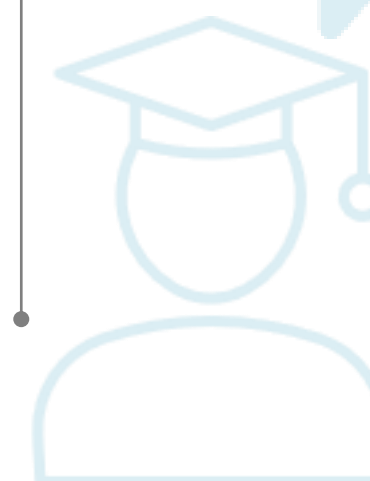
質問：就職先を見つける際に重視する情報源はどれですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。

四角のサイズが各項目の加重平均値を表している。詳細は付属の表を参照。



- 仕事については大学の就職課に依存している。
- 多くの学生はテクノロジーに精通しており、企業についてもインターネットから情報を得ている。

- 先輩と、ソーシャルメディアを通じて密接につながっている。
- 職を選ぶ際に友人の意見は重要視される。
- 内定を得た後でも、同じ会社や職種の友人からフィードバックを聞き、その企業の情報を収集しようとする。



3~5年後のキャリア

- 回答者は非常にポジティブで、自分たちには明るい未来があると信じている。ほとんどの回答者は、良い仕事を得て良い給料を得て良い人生を送るという自信を持っている。
- 回答者は自分たちを、多国籍企業や他の組織で成功を収めているチームを管理したり、ビジネスを立ち上げたりする将来のリーダーと見なしている。
- 多くが非常に明確に、進みたい業界や分野を記述している。
- また多くの回答者が、自分の専門をさらに深めるためにさらに上のレベルの学校（大学院など）に進むことを考えている。

質問：3~5年後の自分がなりたいキャリアの姿を教えてください。（自由記述）

希望する日本の会社で働いている。また自身の会社を起業している。

最初の2~3年で、IOTと機械設計をさらに学ぶために、留学する。そこで得たアイデアを個人でいくつか形にし、最後に、自分の才能を高く評価し、そのような開発に取り組んでいる会社に就職する。

5年以内にMBAを取り、金融会社で働いている。

ソフトウェアの会社でよい給料をもらって仕事している。

博士課程で勉強している。

大手光通信会社で働き、関連するスキルと自身の働きでこの業界を支援していく。

韓国か日本の多国籍企業で、人事部門かどこかで大きなプロジェクトチームのマネージャーとして働いている。

米国の多国籍企業でソフトウェアエンジニアとして働き、リーダーシップスキルを発揮している。

自分の興味のある分野でキャリアを積みながら、安定した給料を稼げるように中堅企業で働く。

製造業の研究開発部門で働き、特許を少なくとも1つはとっている。

世界的な大企業で機械学習のResearchエンジニアとして働いている。

化学か鉄鋼の企業で、工場マネージャーとして働いている。

テクノロジーコンサルティング分野のプロジェクトチームのリーダー。

多国籍企業で働きながら新しい技術やスキルを経験し学んでいる。

現在よりも責任範囲の広いポジションにつける会社で働いている。その中で経験と知識を吸収して、より習熟したい。また新しい後輩を指導して、彼らの成長も助けたい。

大学院に進んだ後良いコンサルティング会社に就職している。

起業し、モチベーションの高い人を雇うまでになっている。

年収600~800万ルピーで大きな多国籍企業で働いている。

より良い将来のために、企業のあるチームのリーダーとして働いている。

どんな分野でも自分が満足できる仕事ができる企業で働いている。

大きな多国籍企業で働いている。

海外の有名大学で理学修士号を取る。

シニアハードウェアデザインエンジニアとして働いている。

世界的な電気自動車の会社で働いている。

技術分野で内容領域専門家となり、問題を解決するためにチームを指導する。

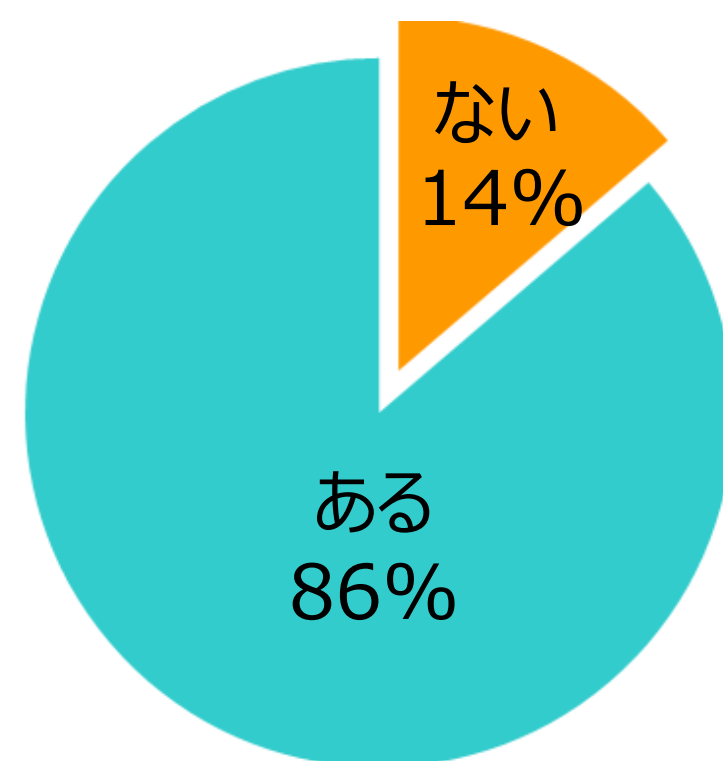
現在の企業で働き続けながら、より複雑でチャレンジングな問題解決に取り組みたい。

インドの大手企業で働きながら、数多くの革新的なプロジェクトやアイデアに取り組みたい。技術的に十分経験を積んだら、海外の金融機関で働きたい。



②

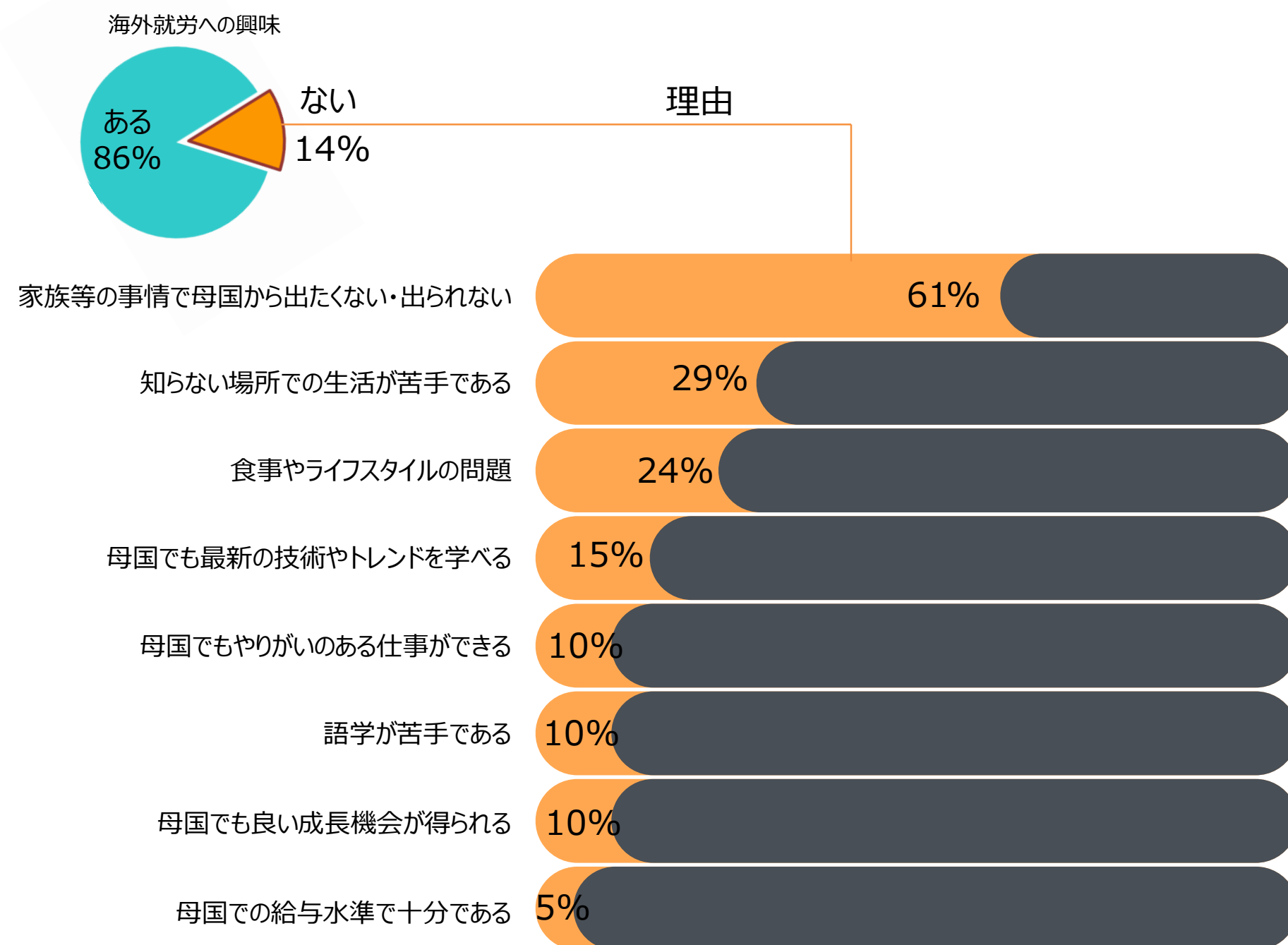
海外就労への関心



海外就労に関心がない回答者

- 海外就労に関心がない回答者の78%が22歳以下である。
- 家族の事情が、海外就労に関心がない主な理由である。インドの家族は保守的な傾向にあり、若すぎる年齢で海外で一人暮らしすることに不安を感じている。

質問：海外で働きたくない・関心がない理由は何ですか。（複数回答）



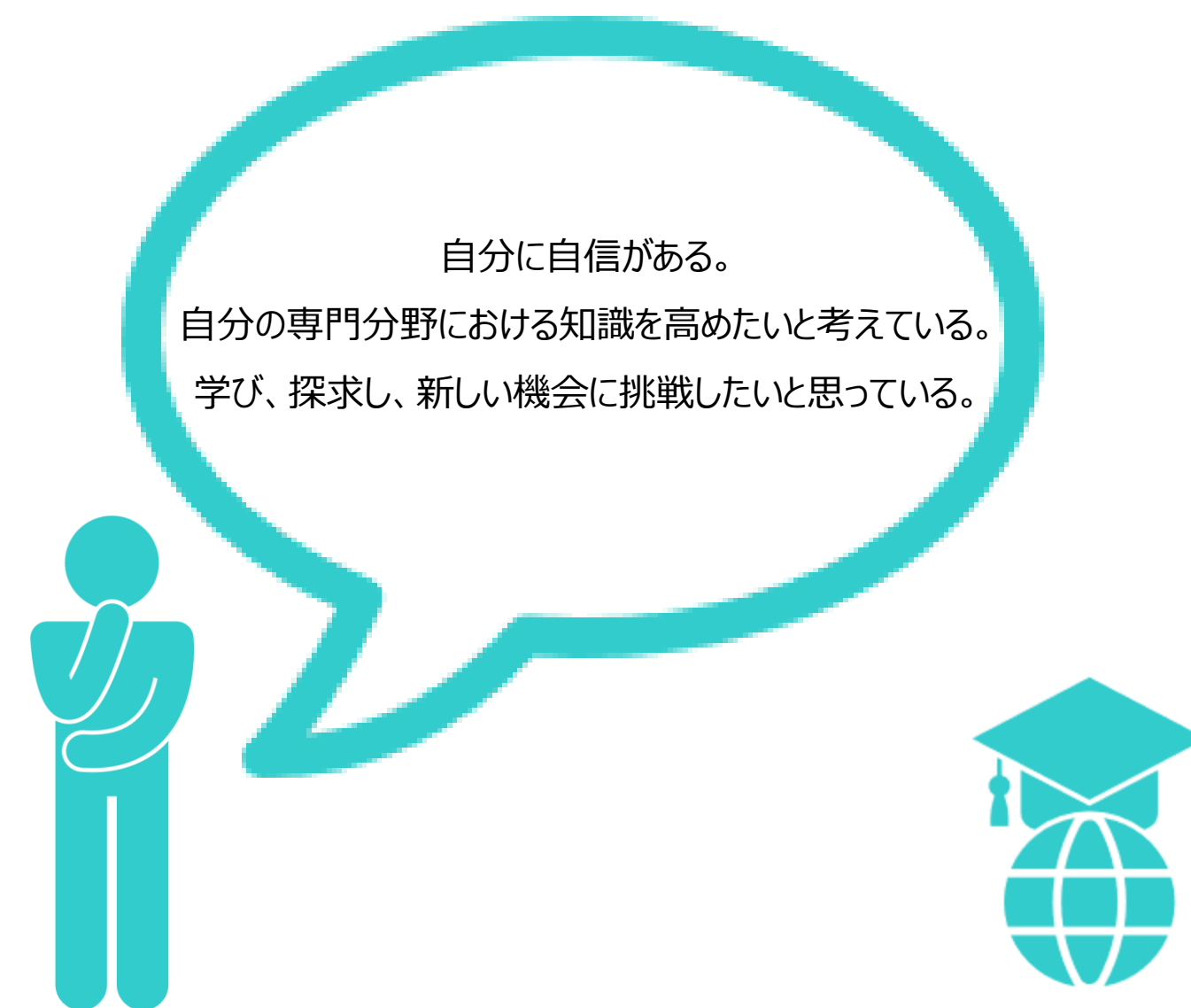
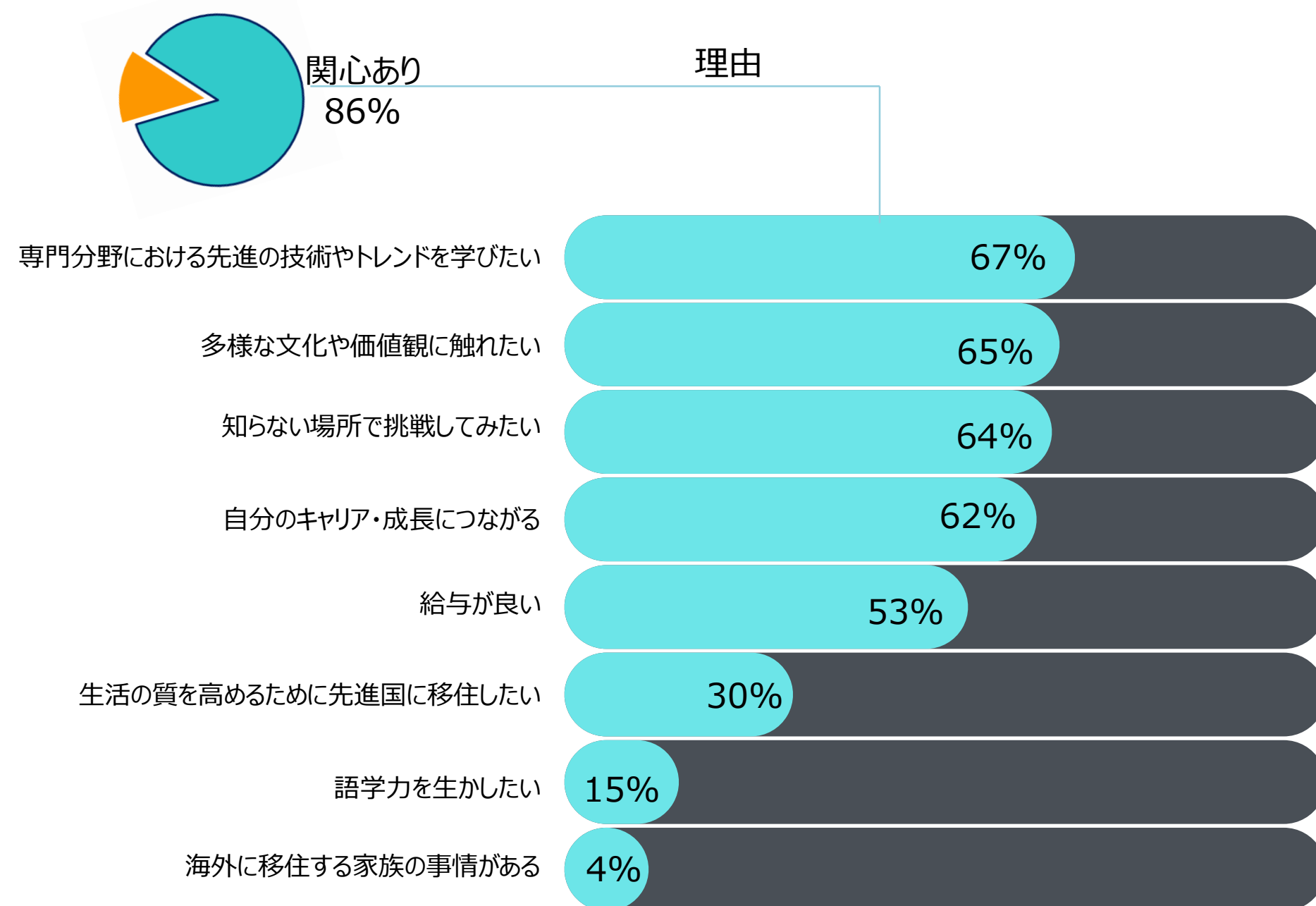
まだ20歳程度と若く、両親も一人で外国に行くには若すぎると考えている。
自分でもまだ自信がない。おそらく数年後には海外就労を考えることができるだろう。



海外就労に関心がある回答者

□ テクノロジーに興味を持っている回答者は、海外で挑戦し、新しい分野や多様な文化を探求して体験し、より良い生活を手に入れることを重視し、自身の知識やスキルを拡大したいと考えている。

質問：海外で働いてみたい・関心がある理由は何ですか。（複数回答）



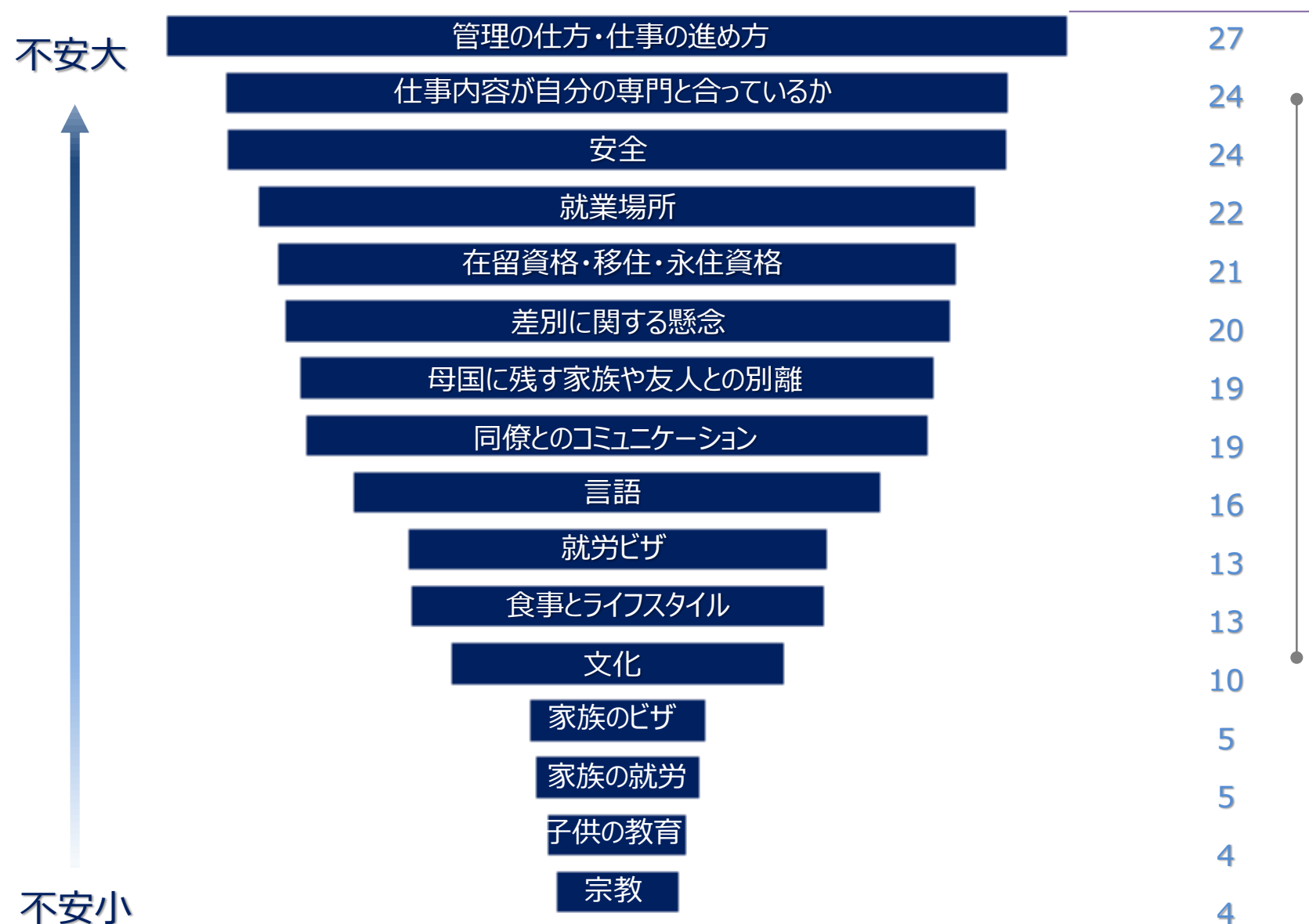
海外就労に関する不安

- 突出した不安内容はなく、項目間に大きな差はなかった。
- 管理の仕方・仕事の進め方、仕事内容が自分の専門と合っているか、安全、就業場所が、上位の懸念である。

質問：〈海外で働いてみたい・関心がある方に質問〉海外就労する場合に不安なことは何ですか。主な不安から順に3つ選んでください。

バーの長さが各項目の加重平均値を表している。詳細は付属の表を参照。

加重平均スコア



□ 仕事の仕方と、職場の雰囲気

□ 同僚との関係

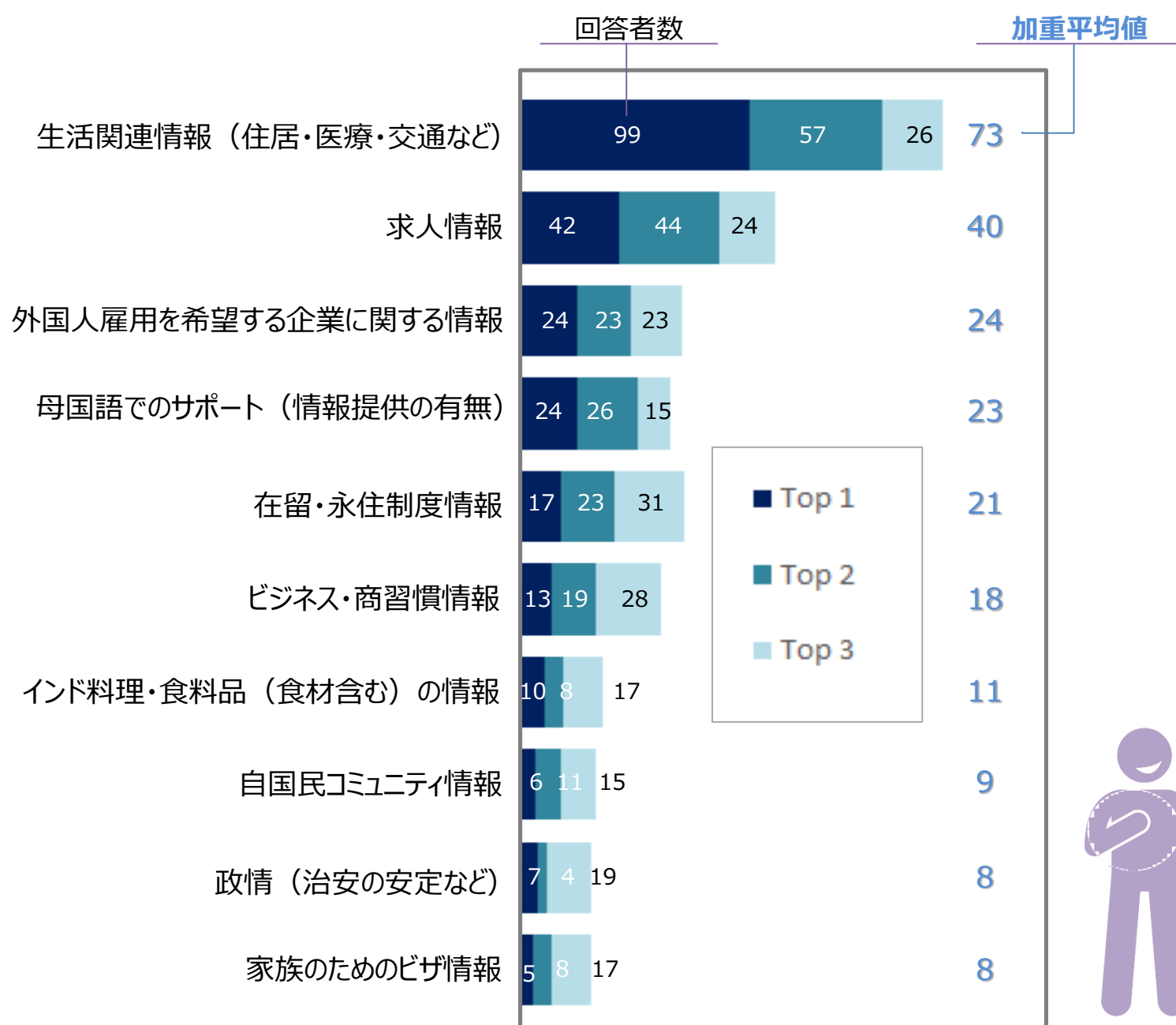
□ 仕事内容が自分の専門エリア・資格と合っているか。



海外就労を考える際に必要な情報

- インド料理の情報を含む基本的な生活関連情報が、最も重要かつ必要な情報として挙げられた。
- 海外就労を希望する回答者は、どのように求人の有無を知るか、どのように外国人を雇用する企業を見つけるか、どのようにビザや在留資格を取るかなどの情報を求めている。

質問：日本を含め外国で就労することを考える場合、どのような情報が必要ですか。重要視するものから最大3つ、順番を付けて選んでください。



どうやってビザを取るのか、どこに住むのか、いくら給与があれば生活に十分なのか。

女性, 20-23歳
IIT Indore
Electrical engineering
Female

どうやってビザを取るのか、住む場所をどうやって探すのか。

男性, 20-23歳
Central University of TamilNadu
Material Science and Technology

仕事に関するルールや規律、家族は何人帯同できるのか、食料品はどんなものが手に入るのか。

男性, 20-23歳
IIT Madras
Mechanical Engineering (manufacturing) and Machine Learning, and Data Science

外国人がどのように昇進していくのか、給与、どうやって住居を探すのか。

男性, 28-30歳
IIT Hyderabad
Computer Science & Engineering

誰かと一緒に住めるのか、それとも一人で住まなければならないのか。どんな食品が手に入るのか。

男性, 20-23歳
IIT Hyderabad
Civil Engineering

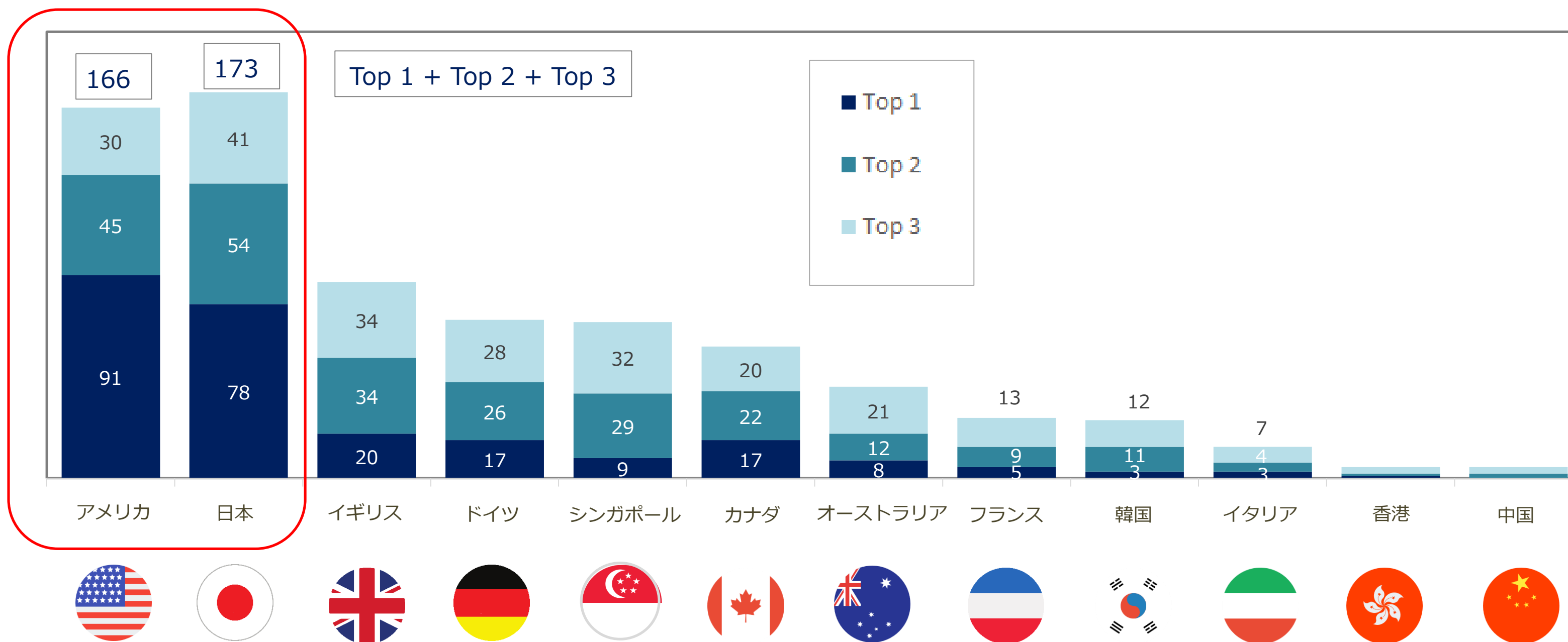
両親も訪問したり一緒に住んだりできるか、日本人は歓迎してくれるのか、友人はできるのか。

男性, 20-23歳
IIT Gandhinagar
Computer Science and Engineering

就労してみたい国

- 加重スコアではアメリカが就労してみたい国の1位、日本は2位だった。
- Top1～3の回答者数の合計だけで見ると、日本を挙げたのは173人、アメリカを挙げたのは166人だった。

質問：＜海外で働いてみたい・関心がある方に質問＞ 就労してみたい国はどこですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。



就労先としてアメリカを1番に挙げた理由

“機会を与えてくれる国”
友人や親戚のサクセスストーリーが
若者を魅了する



既に多くの友人や親戚がアメリカに住んでいたり働いている
人が多く、そこから企業や国、雰囲気、仕事について生の
声を聞いているケースが多い。

またそのような知り合いが、実際に移住する際には精神的
サポートとなったり居住先に落ち着くまでの助けとなってい
る。

言語バリアもない。



女性, 20歳未満
IIT Indore
Electrical Engineering

親戚がいるため、快適に過ごすための
手助けをしてくれる。



男性, 20-23歳
IIT Gandhinagar
Computer Science and
Engineering

たくさんの機会、ワークライフバランス。

多くの機会がある、親戚が何人も働いて
いる、食事の心配もない。

男性, 20-23歳
IIT Madras
Mechanical Engineering
(manufacturing) and Machine
Learning, and Data Science



キャリアの成長、活発な競争、
ソフトウェア開発者にとっての機会。



男性, 20-23歳
IIT Gandhinagar
Computer Science and
Engineering

西洋文化、英語が通じる。

男性, 20-23歳
IIT Indore
Electrical
Engineering



友人が何人も働いているので、
助けられる。



男性, 24-27歳
Delhi Technological
University
Computer Science

アメリカにはソフトウェアエンジニアにとって
多くの機会がある。

男性, 20歳未満
IIT Indore
Electrical Engineering



大企業、良い文化、良い機会。



男性, 20-23歳
IIT Indore
Electrical Engineering



男性, 24-27歳
IIT Gandhinagar
Mechanical
Engineering

インド人が多い、就労が簡単、
友人たちもいる。

就労先として日本を挙げた理由



男性, 20歳未満
IIT Gandhinagar
Computer Science and
Engineering

高い技術力と、発達した医療制度のある先進国。



男性, 20-23歳
Guru Gobind Singh
Indraprastha University
Information Technology

技術と文化の完璧な混合。

先進技術の国としていられている、日本に住む友人が健康に関する助成金があると教えてくれた。

男性, 20-23歳
IIT Hyderabad
Electrical Engineering



男性, 20-23歳
IIT Gandhinagar
Mechanical
Engineering

高い技術力を持つ先進国、礼儀正しい人々。

先進国、勤勉、先進の技術力。

男性, 20歳未満
IIT Indore
Electrical
Engineering



男性, 20-23歳
IIT Hyderabad
Civil Engineering

日本の文化や日本式の管理方法が好き、研究の分野で多くの機会がある。

日本の文化に親しみを感じている。礼儀正しさなど、新しく学ぶことがたくさんある。

男性, 28-30歳
IIT Hyderabad
Computer Science &
Engineering



男性, 20-23歳
Delhi Technological
University
Electrical and
Electronics Engineering

日本の労働倫理を尊敬する、成長の機会、高度な技術力。

先進技術、勤勉、良い環境。

男性, 20歳未満
IIT Indore
Electrical Engineering



就労先としてその他の国を挙げた理由

シンガポール



親戚が働いている。
労働環境が良い。
働きながら学ぶことができる。

ヨーロッパ

多様な文化、生き方。
親戚が住んでいる。
美しい場所。
ワークライフバランス。
多くの機会。
先進技術。
先進国。
英語が通じやすい。
学び・研究と仕事が同時にできる。

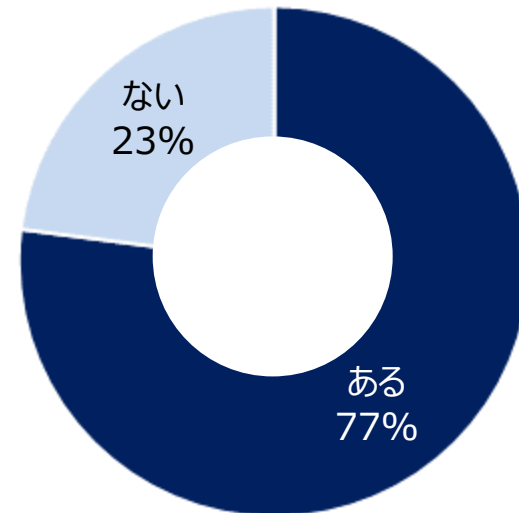




③

日本と日本企業の印象

日本や日本企業で働くメリットはありますか



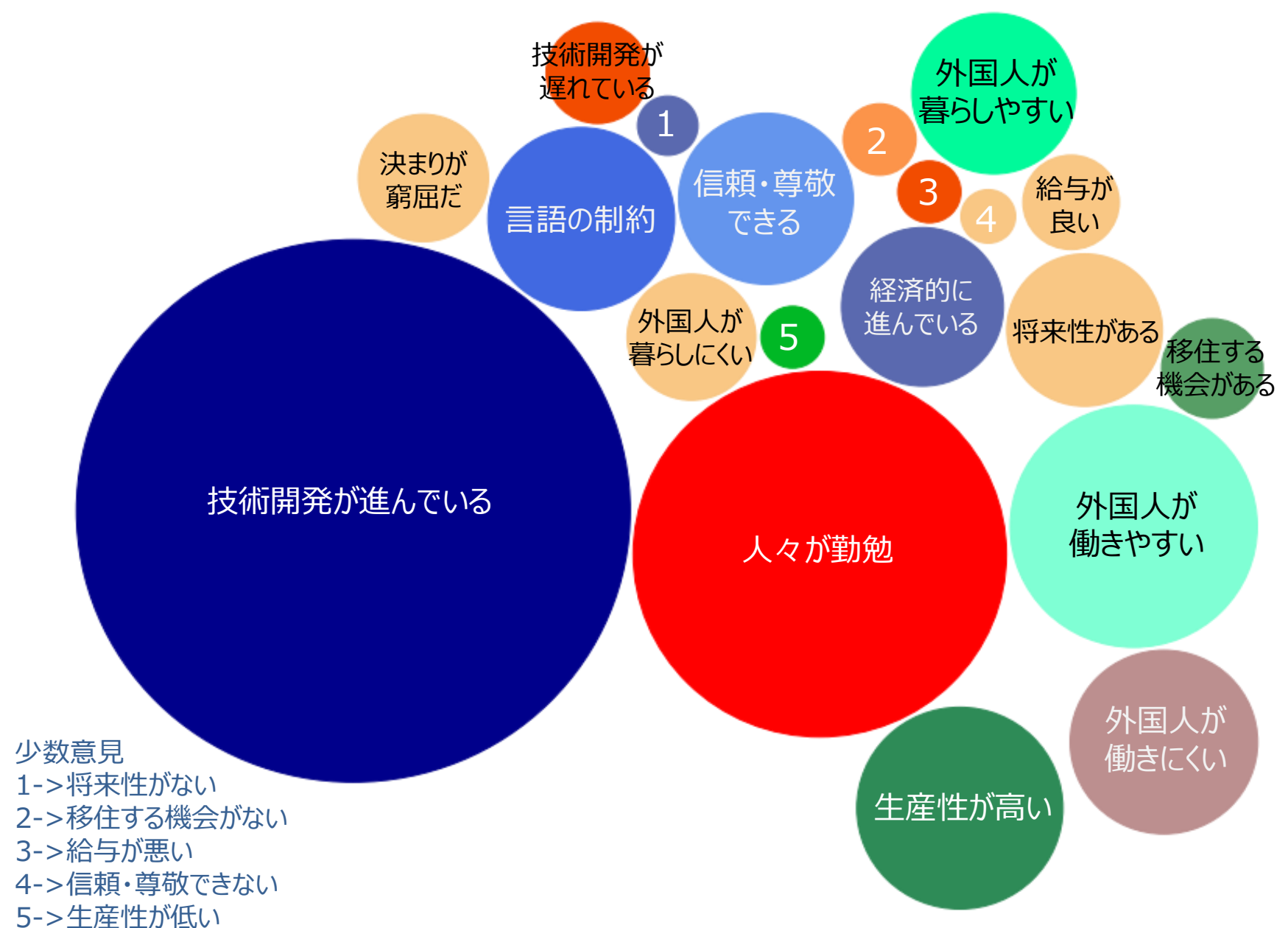
日本のイメージ

日本の評価は良い

- 日本は技術開発が進んでおり、人々が勤勉で、外国人が働きやすいというイメージを持たれている。
- 一方で厳格なルールに従わなければならないことや、言語の制約がネガティブイメージとして少数の回答者から挙げられた。

質問：あなたが持つ日本という国へのイメージに当てはまるものはどれですか。最も当てはまるものを3つ、順番を付けて選んでください。

バブルのサイズが各項目の加重平均値を表している。詳細は付属の表を参照。



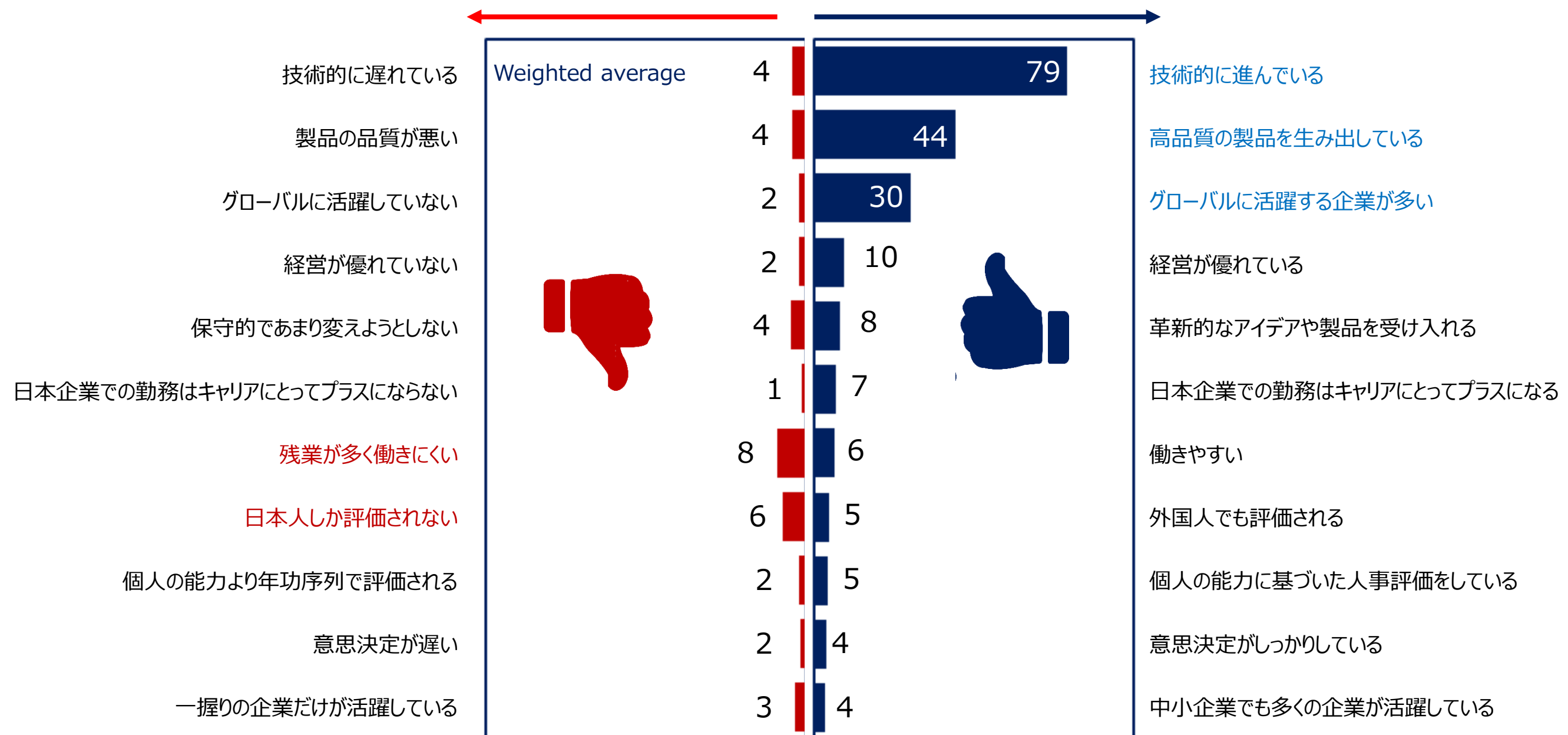
男性, 20-23歳 IIT Gandhinagar Computer Science and Engineering	厳格な文化、ワークライフバランスが悪い、外国人が歓迎されない。	男性, 20-23歳 IIT Indore Computer Science and Engineering	言語文化、安全、家族の問題
男性, 20歳未満 IIT Indore Electrical Engineering	10点満点中9点。コミュニケーションバリアだけ懸念。	女性, 20-23歳 IIT Indore Computer Science and Engineering	永住権を得るのが難しい。
男性, 20-23歳 Guru Gobind Singh Indraprastha University Information Technology	人々が非常に良い、技術と文化の完璧な混合。	女性, 20歳未満 IIT Indore Electrical Engineering	生活費が高いこと以外すべて良い印象。
男性, 20歳未満 IIT Gandhinagar Computer Science and Engineering	急激な成長、AIに関心。	男性, 20-23歳 Delhi Technological University Electrical and Electronics Engineering	何度でも復活する闘争心を尊敬。文化、遺産、技術。
男性, 20-23歳 IIT Indore Computer Science and Engineering	先進技術、優れた起業家精神、機会	男性, 20-23歳 IIT Gandhinagar Mechanical Engineering	菌版な人々、先進技術、安全。

日本企業のイメージ

日本企業のイメージは高い

- 技術的に進んでいる、高品質の製品を生み出している、グローバルに活躍する企業が多いが、日本企業のイメージでTop 3となった。
- 一方ネガティブ意見が対応するポジティブ意見をわずかながら上回ったのは、残業が多く働きにくいと、日本人しか評価されないというイメージだった。

質問：あなたが持つ日本企業へのイメージに当てはまるものはどれですか。最も当てはまるものを3つ、順番を付けて選んでください。



日本や日本企業に関して情報を入手する手段

- 本調査の回答者の49%は20歳未満で、学生であるため、情報入手手段として大学の就職課に多くを負っている。
- その他ジョブフェア、企業のウェブサイト、大使館や政府のウェブサイト、また友人・親戚・先輩から、情報を多く収集していると言える。

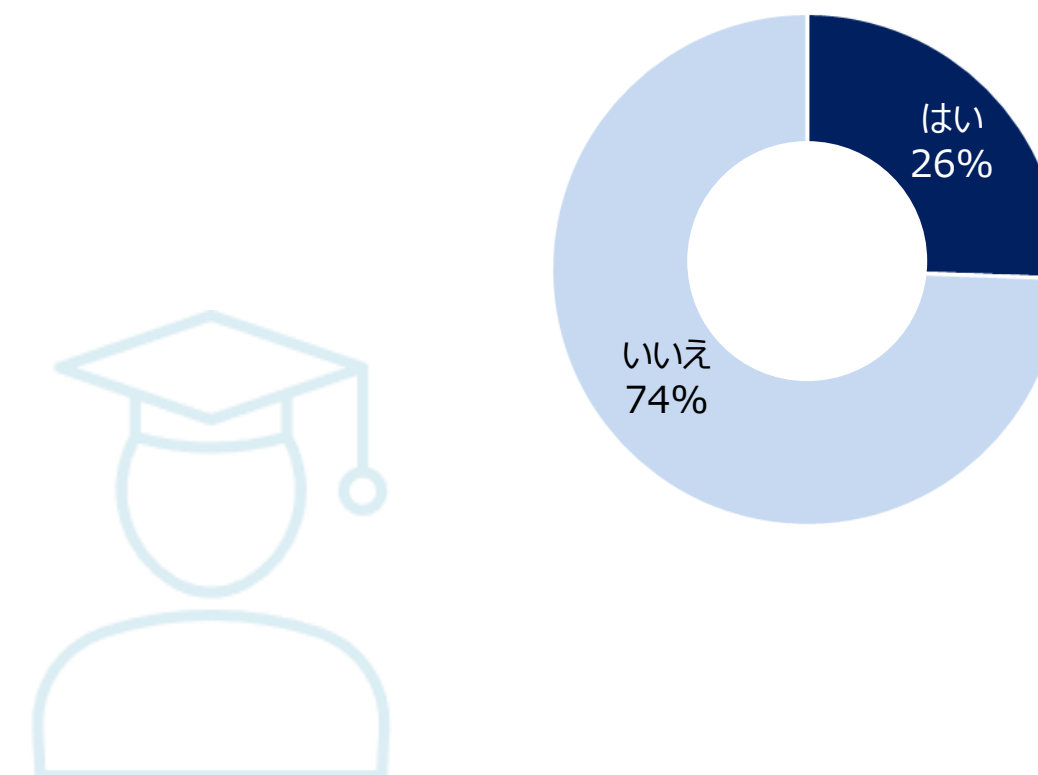
質問：日本や日本企業に関して情報を入手する場合、どのような手段が考えられますか。信頼性の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。

四角のサイズが各項目の加重平均値を表している。詳細は付属の表を参照。

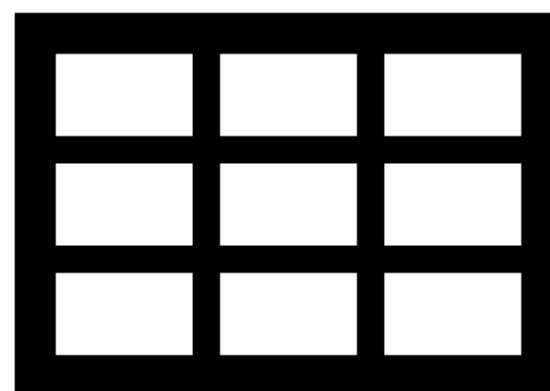


質問：日本は、専門的な技術や能力を持つ外国人材に対して、出入国管理上の優遇制度を設けることで、外国人が日本で働きやすい環境が整備されています。例えば、大学の専攻と類似する職種に就けば最長5年（更新可能）の在留許可が付与されることや、条件を満たせば最短1年で永住権申請が可能な「日本版グリーンカード」などがあります。

こうした日本の制度・取り組みを知っていましたか？



付録：表



Tables

年齢	回答数	%
20歳未満	74	24.8%
20-23歳	147	49.3%
24-27歳	61	20.5%
28-30歳	9	3.0%
30歳超	7	2.4%
Total	298	100%

現在の所属	回答数	%
大学生	188	63%
既卒	52	18%
社会人	42	14%
大学院生	6	2%
自分のビジネス	4	1%
その他	6	2%
Total	298	100%

性別	回答数	%
男性	255	86%
女性	40	13%
非公開	3	1%
Total	298	100

Tables

あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。

	回答者数						加重平均値
	Top 1	Top 2	Top 3	Top 4	Top 5	合計	
希望する収入が得られること	62	52	40	29	23	206	47.9
社会的地位が得られること	3	17	14	9	23	66	11.1
雇用が安定していること	36	36	30	21	10	133	31.1
給与以外の福利厚生が手厚いこと	2	10	13	34	13	72	11.3
会社や業種に将来性が感じられること	33	38	27	18	19	135	30.2
長く働けそうであること	13	7	18	8	18	64	12.1
転職や起業に有利な会社であること	7	4	15	11	6	43	8.3
自分の専門性や関心を生かせること	16	9	8	13	3	49	11.3
自分の成長が期待できる仕事であること	30	26	18	18	17	109	24.1
幅広い知識や経験を得られること	48	23	22	21	13	127	30.2
研修が充実していること	1	8	2	5	6	22	3.9
自分の裁量が多いこと・自分の意見が通りやすいこと	2	13	13	17	18	63	10.2
規模の大きな仕事ができること	2	9	6	9	12	38	6.3
やりがいを感じられる仕事であること	3	1	6	2	4	16	3.0
入社後のキャリアプランが描きやすいこと	3	6	7	7	2	25	5.1
会社内の人間関係が良いこと	1	3	3	5	6	18	2.8
プライベートを大事にできること	23	10	21	33	35	122	21.3
フレックス勤務やテレワークなど、柔軟な勤務ができること	2	8	9	9	15	43	6.8
残業や休日出勤がないこと	4	7	8	6	11	36	6.3
転勤がないこと	2	2	4	5	3	16	2.9

Tables

あなたが仕事を選ぶ上で重視しないことは何ですか。

	回答者数						加重平均値
	Bottom 1	Bottom 2	Bottom 3	Bottom 4	Bottom 5	合計	
希望する収入が得られること	18	6	9	5	10	48	10.7
社会的地位が得られること	74	26	21	18	16	155	39.3
雇用が安定していること	10	7	13	13	7	50	10.0
給与以外の福利厚生が手厚いこと	9	28	15	20	17	89	17.3
会社や業種に将来性が感じられること	5	7	9	6	10	37	6.8
長く働けそうであること	19	21	22	19	11	92	19.6
転職や起業に有利な会社であること	15	26	20	16	17	94	19.2
自分の専門性や関心を生かせること	7	12	8	8	9	44	8.8
自分の成長が期待できる仕事であること	2	0	6	4	3	15	2.6
幅広い知識や経験を得られること	0	2	6	5	3	16	2.6
研修が充実していること	7	21	17	19	11	75	14.6
自分の裁量が多いこと・自分の意見が通りやすいこと	1	7	15	7	10	40	6.8
規模の大きな仕事ができること	2	9	13	16	8	48	8.3
やりがいを感じられる仕事であること	8	17	13	10	9	57	11.7
入社後のキャリアプランが描きやすいこと	4	5	8	9	2	28	5.6
会社内の人間関係が良いこと	5	13	9	7	9	43	8.5
プライベートを大事にできること	8	3	9	3	8	31	6.2
フレックス勤務やテレワークなど、柔軟な勤務ができること	7	13	20	12	12	64	12.2
残業や休日出勤がないこと	20	30	17	22	8	97	21.5
転勤がないこと	60	25	26	17	34	162	36.4

Tables

就職するにあたりPRしたい／生かしたい自分の強みは何ですか。
いずれか当てはまるものを2つ選択してください。

	回答者数			加重平均値
	Top 1	Top 2	合計	
専攻（専門知識やスキル）	96	36	132	76.0
コミュニケーション能力	22	43	65	29.0
語学	2	9	11	4.3
創造力	47	32	79	42.0
分析力	47	37	84	43.7
リーダーシップ・管理能力	27	42	69	32.0
対応力・適応力	26	51	77	34.3
計画して実行する力	27	36	63	30.0

卒業後あるいは次のキャリアで希望する就職先の規模は以下のどれに近いですか。いずれか一つ、選んでください。

	回答数	%
企業の規模にこだわりはない	124	42%
従業員数5000人超の企業	41	14%
従業員数500-499人の企業	64	21%
従業員数100-499人の企業	44	15%
従業員数20-99人の企業	16	5%
従業員数20人未満の企業	9	3%
合計	298	100%

Tables

卒業後あるいは次のキャリアで希望する就職先は以下のどれに近いですか。いずれか一つ、選んでください。

	回答数	%
企業の種類にこだわりはない	79	27%
非インド系の多国籍企業	74	25%
インド系の多国籍企業	61	20%
公務員・政府系企業	48	16%
スタートアップ企業（起業するを含む）	29	10%
NGO	1	0%
その他	6	2%
合計	298	100%

Tables

就職先を見つける際に重視する情報源はどれですか。
優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。

	回答数				加重平均値
	Top 1	Top 2	Top 3	合計	
キャリアウェブサイト (Monster、Naukri など)	51	17	52	120	39.8
ジョブフェア	2	9	9	20	5.5
家族や友人知人からの紹介・情報	19	38	37	94	28.3
大学からの紹介・情報	22	36	46	104	30.7
FB、Twitter、Instagramなどのソーシャルメディア	9	18	19	46	13.7
企業のウェブサイト	21	50	39	110	33.7
人材会社	3	12	10	25	7.2
インターンシップ先	31	62	29	122	41
キャンパスリクルートメント	133	42	34	209	86.2
新聞広告	3	4	8	15	4.2

Tables

海外就労への関心

	回答数	%
関心ない	41	14%
関心あり	257	86%
合計	298	100%

海外で働きたくない・関心がない理由は何ですか。(複数回答)

	回答数	%
母国での給与水準で十分である	2	5%
母国でもやりがいのある仕事ができる	4	10%
母国でも最新の技術やトレンドを学べる	6	15%
知らない場所での生活が苦手である	12	29%
語学が苦手である	4	10%
家族等の事情で母国から出たくない・出られない	25	61%
母国でも良い成長機会が得られる	4	10%
食事やライフスタイルの問題	10	24%

海外で働いてみたい・関心がある理由は何ですか。(複数回答)

	回答数	%
Monetary Benefits/Good Salary	137	53%
自分のキャリア・成長につながる	159	62%
専門分野における先進の技術やトレンドを学びたい	173	67%
多様な文化や価値観に触れたい	168	65%
知らない場所で挑戦してみたい	165	64%
語学力を生かしたい	39	15%
生活の質を高めるために先進国に移住したい	76	30%
海外に移住する家族の事情がある	10	4%

Tables

就労してみたい国はどこですか。優先度の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。

	回答者数				加重平均値
	Top 1	Top 2	Top 3	合計	
日本	78	54	41	173	64
中国	0	2	3	5	1
香港	1	1	3	5	1
韓国	3	11	12	26	7
シンガポール	9	29	32	70	20
オーストラリア	8	12	21	41	12
アメリカ	91	45	30	166	66
カナダ	17	22	20	59	19
イギリス	20	34	34	88	27
ドイツ	17	26	28	71	22
フランス	5	9	13	27	8
イタリア	3	4	7	14	4

Tables

海外就労する場合に不安なことは何ですか。主な不安から順に3つ選んでください。

	加重平均値
管理の仕方・仕事の進め方	27
就業場所	22
仕事内容が自分の専門と合っているか	24
同僚とのコミュニケーション	19
言語	16
文化	10
差別に関する懸念	20
安全	24
宗教	4
母国に残す家族や友人との別離	19
在留資格・移住・永住資格	21
家族の就労	5
子供の教育	4
家族のビザ	5
食事とライフスタイル	13
就労ビザ	13

日本を含め外国で就労することを考える場合、どのような情報が必要ですか。重要視するものから最大3つ、順番を付けて選んでください。

	Top 1	Top 2	Top 3	合格	加重平均値
生活関連情報（住居・医療・交通など）	99	57	26	182	73
母国語でのサポート（情報提供の有無）	24	26	15	65	23
求人情報	42	44	24	110	40
在留・永住制度情報	17	23	31	71	21
外国人雇用を希望する企業に関する情報	24	23	23	70	24
外国籍人材のロールモデル	2	3	7	12	3
自国民コミュニティ情報	6	11	15	32	9
ビジネス・商習慣情報	13	19	28	60	18
政情（治安の安定など）	7	4	19	30	8
家族の就労可能性	4	3	6	13	4
子供の教育についての情報	0	3	4	7	2
医療制度についての情報	2	9	8	19	5
インド料理・食料品（食材含む）の情報	10	8	17	35	11
家族のためのビザ情報	5	8	17	30	8

Tables

あなたが持つ日本という国へのイメージに当てはまるものはどれですか。
最も当てはまるものを3つ、順番を付けて選んでください。

	加重平均値
技術開発が進んでいる	92
技術開発が遅れている	5
外国人が働きやすい	18
外国人が働きにくい	11
外国人が暮らしやすい	9
外国人が暮らしにくい	5
人々が勤勉	42
決まりが窮屈だ	7
経済的に進んでいる	8
経済的に遅れている	1
信頼・尊敬できる	10
信頼・尊敬できない	1
生産性が高い	13
生産性が低い	1
将来性がある	8
将来性がない	1
給与が良い	3
給与が悪い	2
移住する機会がある	3
移住する機会がない	3
言語の制約	11

あなたが持つ日本企業へのイメージに当てはまるものはどれですか。
最も当てはまるものを3つ、順番を付けて選んでください。

	加重平均値
技術的に進んでいる	79
技術的に遅れている	4
高品質の製品を生み出している	44
製品の品質が悪い	4
グローバルに活躍する企業が多い	30
グローバルに活躍していない	2
外国人でも評価される	5
日本人しか評価されない	6
経営が優れている	10
経営が優れていない	2
一握りの企業だけが活躍している	3
中小企業でも多くの企業が活躍している	4
働きやすい	6
残業が多く働きにくい	8
日本企業での勤務はキャリアにとってプラスになる	7
日本企業での勤務はキャリアにとってプラスにならない	1
意思決定がしっかりしている	4
意思決定が遅い	2
個人の能力に基づいた人事評価をしている	5
個人の能力より年功序列で評価される	2
保守的であり変えようとならない	4
革新的なアイデアや製品を受け入れる	8

日本や日本企業に関して情報を入手する場合、どのような手段が考えられますか。信頼性の高いものから3つ、順番を付けて選んでください。

	回答者数				加重平均値
	Top 1	Top 2	Top 3	合計	
ジョブフェアなどのイベント	60	13	17	90	37
日本文化イベント	22	23	11	56	21
大学の就職課	62	38	29	129	49
人材会社	13	18	18	49	16
ソーシャルメディア	27	26	20	73	26
就職情報サイト	11	32	20	63	20
ニュース	7	7	17	31	9
大使館や政府のウェブサイト	19	32	23	74	24
日本企業のウェブサイト	22	37	51	110	32
友人・親戚・先輩からの口コミ	14	29	36	79	23

日本は、専門的な技術や能力を持つ外国人材に対して、出入国管理上の優遇制度を設けることで、外国人が日本で働きやすい環境が整備されています。
こうした日本の制度・取り組みを知っていましたか？

	回答数	%
はい	69	26%
いいえ	201	74%

日本や日本企業で働くメリットはありますか？

	回答数	%
はい	208	77%
いいえ	62	23%